

The Japan Observatory at Milano Unica 2026SS 報告

『第40回ミラノユニカ』が開催された。出展者数は過去20年で最多となる**723社**が出展。出展者数の増加に伴い、展示スペースも前年1月に比べ12%以上の増加。

来場者は、3日間で6,746社、約12,000人（前回比+10%）が来訪。うち4,000社がイタリアから（+3.5%）で、**海外からは2,500社で約4,800人（+30.5%）**と海外からの来場者数が大幅に増加。

増加率の高かった国は、フランス（+35%）、イギリス（+41%）、アメリカ（+25%）、スペイン（+55%）、ドイツ（+51%）、日本（+27.5%）、スイス（+19%）、中国（+14%）、加えて新興市場からの来場者数もアラブ首長国連邦（+75%）、サウジアラビア（+50%）、ブラジル（+55%）と大きく伸長。



ミラノユニカ会長シモーネ・カンクリーニ氏は、「第40回ミラノユニカ」を以下のように総括した。

「あらゆる希望的な予測を上回る結果となり、過去最大の出展者数がミラノユニカの信頼を示した。生産面の課題や増加する国際的な対立にもかかわらず、重要地域からの企業の増加は今年後半の回復予測の信頼性を裏付けるものだった。特にフランスの出展者数が40%増加し、来場企業数が213社に達し、ミラノユニカの地位と強みを再確認する結果となった。」

《2026SSのクリエイティブテーマは「MU LAND」》

2026年春夏コレクションに向け、「MU LAND」は「Land of Rurality – RURAL」「Land of Spirituality – ZEN」「Land of Urbanity – UNDERGROUND」の3つのテーマに分類され、私たちの内外にある未知の領域へと想像力をかき立てることを目指している。古代から続く自然とのバランスを再発見し、失われたリズムや調和を取り戻し、瞑想を実践し、シンプルな喜びを再発見することが目的。この演出空間には、伝統的な素材と革新的な素材がミックスされて展示された。



引き続き、サステナビリティへの取り組みに力を入れたミラノユニカ。サステナビリティを定義する5つの柱は、「気候危機へのアクション」「化学薬品の安全性」「生物多様性保全」「循環型経済」「社会正義」のラベルを各素材貼付し紹介。



◀展示会概要▶

第40回Milano Unica

- 開催期間：2025年2月4日（火）～2月6日（木）
- 会場：Rho Fieramilano (Hall 13, 15, 22, 24)
- 主催：Milano Unica Secretariat

第22回The Japan Observatory at MU 2026SS

- 会場：Rho Fieramilano
- 出展者数：55社（47社+JOB Next 8社）
- 展開面積：980㎡
（JOB出展818㎡ + JOB Next 72㎡
+トレンド&インデックスコーナー90㎡）
- 主催：一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構（JFW）／独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）
- 後援：経済産業省／日本繊維産業連盟
- 出展者

株式会社エイガールズ、株式会社バルテックス、中伝毛織株式会社、国島株式会社、株式会社チクマ、
 ＊ササキセルム株式会社、デビス株式会社、日装株式会社、フジサキテキスタイル株式会社、山陽染工株式会社、
 篠原テキスタイル株式会社、北高株式会社、ミナミ株式会社、伊藤忠商事株式会社、＊株式会社ジャパングループ、
 畑岡株式会社/株式会社足羽工業所、齋榮織物株式会社、カジレーネ株式会社、株式会社ムツミテキスタイル、
 ＊KIRARI株式会社、＊株式会社近藤紡績所、株式会社大長、株式会社麻絲商会、興和株式会社、
 ＊桑村繊維株式会社、＊京セラドキュメントソリューションズ株式会社、＊有限会社藤田染苑、
 ＊タイヨウネクタイ株式会社、TANGO OPEN、＊とみや織物株式会社、＊小原屋繊維株式会社、株式会社ブラック、
 豊島株式会社、柴屋株式会社、株式会社shoichi、双日ファッション株式会社、＊Spiber株式会社、
 スタイルム瀧定大阪株式会社、＊サンコロナ小田株式会社、株式会社サンウェル、タキヒヨー株式会社、



瀧定名古屋株式会社、帝人フロンティア株式会社、株式会社東紀繊維、東レ株式会社、
 東レインターナショナル株式会社、宇仁繊維株式会社 ***新規出展**
 ◇アウトサイド出展 小松マテレー株式会社

昨年7月展を上回る開始以来、過去最大規模の55社890㎡の展開スペース。JOBに新規に出展する企業が16社となり、輸出ビジネスとMUへの期待の高さを改めて感じる展示会となった。

ミラノユニカが欧米バイヤーにとって非常に重要な展示会となるにつれ、JOB への出展検討のための視察に訪れる企業が毎回か増えている。JOB主催者の積極的な呼びかけに加え、企業間連携によるブース出展も促進され、2026SS 展では 16 社が初出展となった。今後も共催のジェトロと共に、欧米市場に関心のある企業を誘致し、バイヤーの期待に応えていきたい。

ホール13中央通路に設置されたJapan Trend & Indexは、来場者から高い評価を受けている人気のコーナー。出展者ブースへのゲートウェイとして機能し、JOB出展者の素材を一堂に把握できる点が魅力。ボーダー壁面に配置された開放感ある空間演出は、独特で斬新な色の組み合わせやグラフィックにより、多くのバイヤーを引き付けた。原料の組み合わせや織り・編み・加工の工夫に関心を寄せる来場者も多く見られた。日本素材はラグジュアリーで洗練された生地として評価が高く、トレンドコーナーで素材を見てブースを訪れるバイヤーにとって、素材発見の場として機能している。



JOBエリア入り口に設けたJOBラウンジでは、前回 2025AW 展に引き続き、来場バイヤー及び出展者の皆様に感謝を込めたスペシャルサービスを企画するなど、JOBエリアを活気に満ちた環境としてビジネスマッチングの場を創出した。



また、新たな試みとして開催前夜にJOB出展者・関係者による懇親会を開催し、総勢200名以上が参加し、出展者間の交流や情報交換を通じて相互の連携促進の場となった。



《JOB に来場した主な著名バイヤー》

A.P.C. / AKRIS / ALAIA / Alexander McQueen / Alexander Wang / altea / ANTEPRIMA / antonio marras / Aquascutum / Aspesi / BALENCIAGA / BALMAIN / BOTTEGA VENETA / BRUNELLO CUCINELLI / Burberry / CAROL CHRISTIAN POELL / Chanel / Christopher Kane / Collini Mialno 1937 / CONVERSE / DIESEL / Dior / DOLCE & GABBANA / dunhill / Ermenegildo Zegna / FILA / Giorgio Armani. / GIORGIO BRATO / GIVENCHY / GUESS / Herno / HUGO BOSS / HUNTSMAN / Max Mara / ISABEL MARANT / J.CREW / Jacquemus / Jean Paul Gaultier / JIL SANDER / JW ANDERSON / Kering / LANVIN / Loro Piana / Louis / MOLESKINE / MONCLER / SETCHU / supreme / The Row / Theory / TIBI / Tom Ford / Tory Burch / Universal Works. / Vivienne Westwood / Zara 等

《The Japan Observatory at MILANO UNICA 2026AW展 開催スケジュール》

会期：2025年7月8日（火）～7月10日（木）

会場：イタリア・ミラノ Rho Fieramilano

主催：日本ファッション・ウィーク推進機構（JFW）、（予定）日本貿易振興機構（JETRO）

後援（予定）：経済産業省、日本繊維産業連盟

出展募集開始：2025年3月上旬

問い合わせ先：一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構（JFW） テキスタイル事業事務局

Tel: 03-6805-0791 E-mail: mu@japancreation.com